

第 1 回空家等対策協議会 主な意見

◆対象とする空家の種類

- ・生野区は長屋も多く、一部が空家になっており、空家予備群も心配。

◆行政の役割

- ・区役所の体制について、新たな人員負担も含めて市長として検討してもらえないか。

◆情報発信・普及啓発

- ・区が窓口になるとのことなので、ノウハウのある住まい情報センターや区役所、地域で活動している方、団体が連携して、市民に情報が届くよう、上手くまわしていただければ。
- ・できるだけいい事例を紹介していただいて、安心できる不動産・建築業界をアピールできれば。民間ベースでうまく流通が進むのが一番良い。
- ・補助制度を今回の資料で紹介しているが、これ以外にも固定資産税が非課税となるまちかど広場整備事業もある。分かりやすく情報発信すれば、所有者も相談しやすくなるのでは。
- ・権利関係の適切な管理・整理が重要であることをしっかりと広報してもらいたい。

◆空家等の活用

- ・空家問題を解決するには、隣接地と協力し、敷地を集約することが重要であり、それらを促進する施策も必要ではないか。
- ・空家が増加する一方で、地域で繋がる場、居場所づくりも求められている。行政として、福祉関係での空家活用をもっと PR してもらえたらやる気も出る。
- ・サロンの活動は、社協や区役所の力の入れ具合により、活発なところとそうでないところの差は明確である。

◆その他

- ・近年、不動産は負担になっている部分もある。人口減少社会で住宅の新規建設が不要な時代になりつつある。高度成長期のイメージでは不動産市場が成立しないということを十分に認識した計画を作っていく必要がある。
- ・補助メニューは一定整備されているのかもしれないが、そこに当てはまらない場合もある。そこを救えるような施策も必要。
- ・空家をリノベーションしたくても資金を調達できないボランティア団体も多く、その支援が必要である。